

7次総ニュース vol.4

H 31 (2019) .1 .10 第7次総合計画策定事務局

○ 第1次総合計画（後期計画）策定に向けて

策定にあたっては、市民参加・議会参加・職員参加により、方向性・取り組むべき施策を決定していきます。

市民参加：市民による委員会、市民からの意見聴取など 幅広い年代で市民参加の機会を円る

職員参加：策定本部、企画会議、ワーキンググループ、職員施策提案会議、職員提案など、一般事務職だけでなく様々な職種の職員から幅広く参加を円る

議会参加：議会提案、特別委員会（前期策定時）により提言いただく

これまでの開催

● 市民参加

- ・まちづくり懇談会 高齢者（脇之島多寿会・南姫ラジオ体操会・多治見市悠光クラブ連合会）
障がい者（団体代表者・発達支援センター親の会）
- ・子ども会議（小学校4年生から高校3年生）
- ・総合計画高校生提言会議（多治見市内4校の高校生）

高校生からは「これからも住みたいと思うまち」にするためにできる事の提案、職員提案会議では日頃の業務から感じる課題から、施策の提案をいただきました。また、職員提案では10件の提案がありました。

● 職員参加

- ・職員施策提案会議：消防職、技能労務職
保育士・幼稚園教諭
- ・職員提案



▲ 職員施策提案会議



▲ 高校生提言会議



▲ まちづくり懇談会

○ 討議課題集を作成中です

◎ 討議課題集とは

総合計画（後期計画）を策定するにあたり、前期計画の成果を整理し、計画期間の平成35（2023）年までに全ての基本計画事業を完了させるための課題、情勢の変化等による新たな課題を提示するもので、各担当課・ワーキングで議論し取りまとめています。

今後、市民・議会・職員がこの討議課題集をもとに議論するために作成します。